

文化連盟委員長の 6・15集会アピール！



無期停学被処分者

斎藤郁真くん（法学部）

た斎藤委員長。
ハンガーストライキ（断食抗議）に立つ
仲間の逮捕に抗議して、170時間の



反する罪、そして、明文化することのできない、わかりやすく言えばお天道様に顔が向けられない罪です。法律的な立場から言えば、法政大学は、そして、法政大学がやってきたことは、大学の管理権という観点から、そのほとんどが合法でしょう。しかしながら、我々が法政大学に問うているのは、法政大学の行っていることが、お天道様に顔が向けられることなのではないかということです。

社会を構成しているのは人間です。社会があって人間があるのではなく、人間がいて、その人間と人間との間に社会があります。いま何が正しいかを決めるのは、過去の人間たちが決めた一般規範としての法律ではなく、いま生きている、そして、将来を創る我々のような若い人間たちです。何が正しいかという問題から逃げることなく、目の前の事実に対して、現実の物事に対して、善悪の判断をつけていくことをためらわない姿勢を身につけて欲しいと思います。

真面目になることがダサイかのような風潮がありますが、いまだからこそ、もう一度、我々学生は熱い心を取り戻しましょう。

どうも、法大生のみなさん。斎藤です。文化連盟の委員長をやっております。

さて、みなさん。この法政大学の問題ですが、この問題はすでに一大学の学園内闘争として片付けられる問題ではなくなっています。

この問題は、大学という場所のあり方が問われている問題です。

大学とは何か。もっと突き詰めれば、学問とは何か。いま私は逮捕されています。この罪名の法律的構成要件は満たされておりませんので、その意味で私は起訴され、裁判を行い、有罪判決が出ることもまず確実でしょう。

最初の問い合わせに戻りましょう。学問とは何かを考えた時、社会の常識というものとぶつかることは避けられないと思います。法律というものは、良くも悪くも、社会における一般規範です。罪というものには二つの形があります。いま言った、一般規範としての法律に

国鉄1047名解雇撤回！

労働者派遣法撤廃！ 改憲阻止！

法大学生弾圧粉碎！ 麻生政権打倒！

6・14

全国労働者総決起集会

6月14日(日) 13時開会

代々木公園B地区(けやき並木)

呼びかけ：国鉄千葉動力車労働組合

主催：6・14集会実行委員会

